

*前期比：D I・季節調整済

景況

今期の業況判断DI値は - 46と前期の予想DI値を14ポイント上回り、実績に比べると12ポイント改善する結果となりました。売上、資金繰りは改善、収益は後退しました。設備投資については、車両を中心に前期に比べ3ポイント増加し、16%の実施となりました。

来期の予想業況判断DI値は - 56と今期より10ポイント後退すると予想しており、売上、資金繰りは後退し、収益は改善すると予想しています。設備投資については、今期に比べ1ポイント減少し、15%の実施と予想しています。

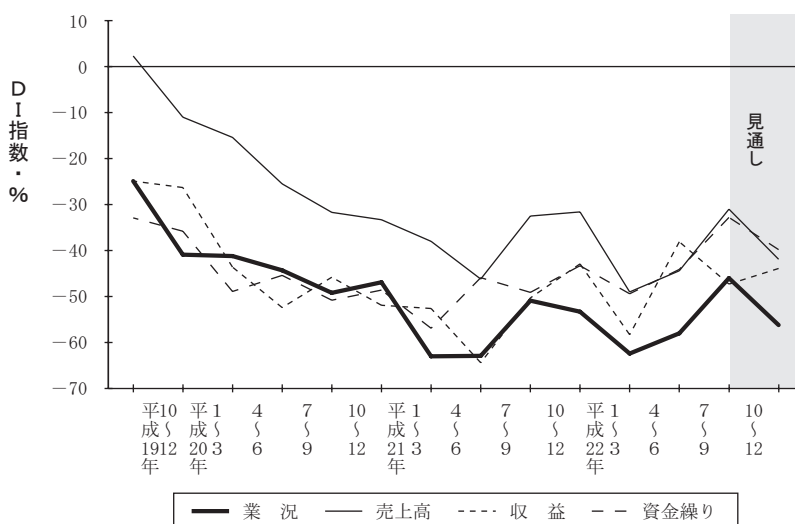
調査員のコメント

地上デジタル関係工事が好調、今後は携帯電話通話エリア拡大工事等が見込まれる。

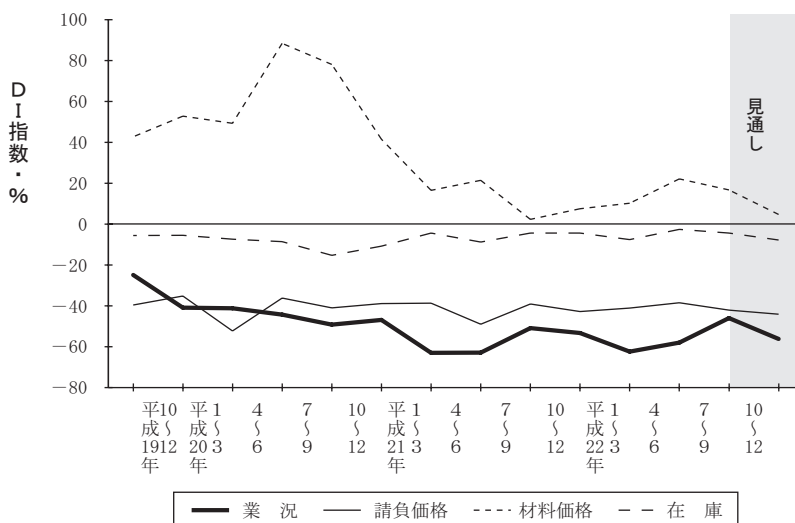
(電気通信工事業)

今夏は天候に恵まれ、仕事は順調に推移した。(一般住宅建設業)

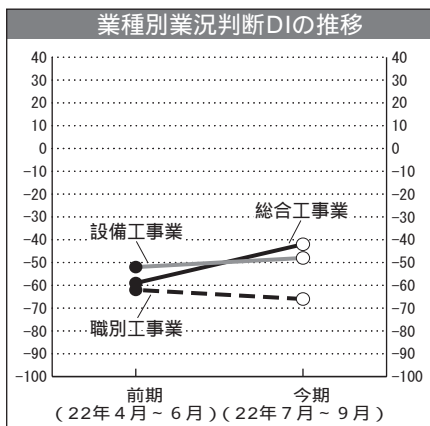
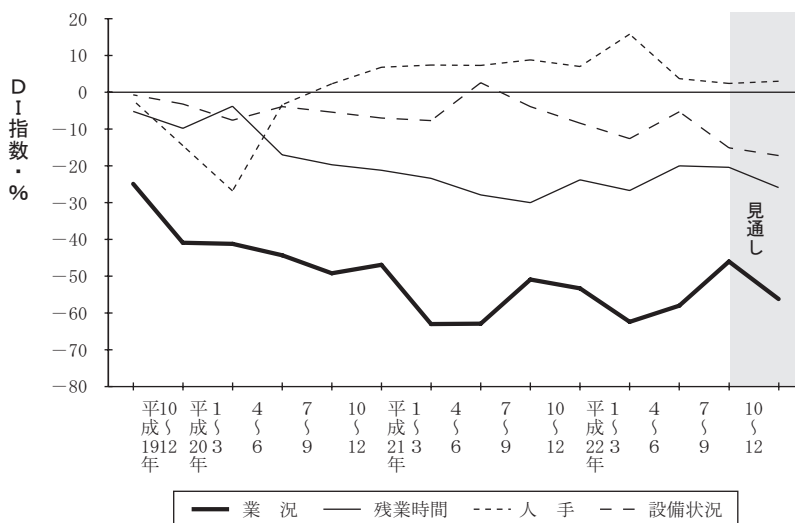
景況の推移



主な指標の動き



残業、人手、設備状況



経営上の問題点		
1位	売上の停滞・減少(2)	65%
	同業者間の競争の激化	65%
3位	利幅の縮小(3)	44%

当面の重点経営施策		
1位	経費を節減する(1)	66%
2位	販路を広げる(2)	58%
3位	情報力を強化する(3)	37%

* ()は前回順位